

H24 県内保護者研修会 報告

「障害者の就労を考える」

平成25年3月16日(土)13:30～16:30 きらめきプラザ401会議室にて、県内保護者研修会を開催いたしました。「障害者の就労を考える」というテーマで、講演会を企画し、会員、障害者、学校関係者、作業所関係者、一般の方と幅広くお話を聞いていただきました。その内容をご紹介します。

①学んで知ろう 「障害者が働くということ ～企業の取り組み～」

講師：山崎 亨 氏（大東コーポレートサービス(株)前社長 東京都教育委員会 就労アドバイザー）

大東コーポレートサービスは、障害者雇用を目的とした大東建托(株)の特例子会社です。

障害者雇用支援機構主催(厚労省後援) 「障害者雇用職場改善好事例」にて優秀賞を受賞されています。

大東コーポレートサービスは、こんな会社です！！

2005年5月6日設立 社員数87名（内障害者55名）

仕事内容： 廃棄文書回収、メール便や物品の仕訳、書類や物品などの梱包及び発送、名刺の製作文書管理(データファイル化)、アンケート入力・集計、ゴム印の製作、ペーパークラフト作成、各種書類の印刷、検品、封入、封緘、竣工報告書の印刷、製本、断裁、梱包、オフセット印刷(カラーパンフレット等)、インクジェット印刷(大型ポスター、等身大パネル)、シルクスクリーン印刷(大型看板の作成)



こんな工夫をしています！！

●生活相談員の配置 福祉系、業務系出身の相談員を配置して、障害者にきめ細かく指導します。マナー指導から作業レベル・業務フローを作成し、障害者をサポートします。

●リラックスできる環境 疲れをためこまない配慮をする
昼食後、ゲームを楽しむ時間、休憩時間(10時、15時:各10分)を設けています。残業をしないで、休日を充実させてしっかり休む体制を整えています。

●SST(ソーシャルスキルトレーニング)導入 社会で他人と交わり共に生活していくために必要な能力 コミュニケーション能力を高めるための練習を行います。

大切なこと

●就労の継続のポイントは、自分からSOSを出せる社員を育てること

●働くということは、「組織の構成員」として「役割を果たす」こと

身だしなみ、姿勢、挨拶、健康管理、ルールを守る、整理整頓、安全衛生、通勤のマナー、セクハラ、悪徳商法、人づきあい(社内、異性の接し方)携帯電話など丁寧に具体的な説明を何度も行います。

●実習は何度でも挑戦し熟して就労をめざす 「できる・できない」は経験の差
できることから仕事に着手し、できなければする方法を考える。

●相談員の対応スキルを磨く 「障害者だからできない」は禁句。

どこでつまづいているかを知り、小さなミスを見逃さない。ミスを報告できる人間関係の構築。
「スキルアップのための粘り強い対応」と「障害者1人1人の個性を認めた柔軟な対応」が必要。

SST(ソーシャルスキルズトレーニング)をやってみよう

よいコミュニケーション

- ①視線を合わせる
- ②手を使って表現する。
- ③身を乗り出して話をする。
- ④はっきりと大きな声で話す。
- ⑤明るい表情で話す。
- ⑥話の内容が適切である。

SST参加のルール

- ①いつでも練習から抜けることができます。
- ②嫌な時はパスできます。
- ③人の良いところをほめましょう。
- ④よい練習が出来るように他の人を助けましょう。
- ⑤質問はいつでもどうぞ。
- ⑥席をはずすときは断ってからにしましょう。

練習の順序

- ①練習することを決める
- ②場面を作って一回目の練習をする。
- ③良いところをほめる。
- ④さらに良くする点を考える
- ⑤必要ならばお手本を見せる。
- ⑥もう一度練習をする。
- ⑦良いところをほめる。
- ⑧チャレンジしてみる課題を決める。(宿題)
- ⑨実際の場面で実行してみる。
- ⑩次回に結果を報告する。

☆ポイント

参加者の良いところを探して、たくさん褒めてあげましょう。

成功体験を積み重ねることによって、何回も練習を繰り返すことができます。たくさん練習をすれば当然、スキルアップできます。

②みんなで考えよう「岡山での障害児者の就労支援」

岡山障害者就業・生活支援センター 支援主幹 話題提供: 大月 政和 氏



「障害者の就労を支えるのは、会社、家庭、地域のネットワークが必要です。家庭での問題が仕事に影響を与えることもあります。問題が起きた時、支援者が問題を共有して解決することが大切です。行政や支援学校の先生が障害者を支えることもあります。障害者の就労には、生活支援がたいへん重要です。」

「就職はゴールではありません。長く働く生活を続けられることです。全ての人々が安心して働ける環境を得られるよう努力が必要です。」

職場で役に立つよい挨拶の仕方

練習風景



上手にできるとどんなことがいいですか？

- ①気持ちよく仕事ができる
- ②元気が出る
- ③職場の人間関係がよくなる

挨拶するとき、こまったことはありますか？

- ①挨拶した後また会った時
- ②会話している人に挨拶する時
- ③相手の人が何かしている時に、挨拶する

会話をしている人に挨拶するとき、どうしたらいいか、アイデアを出して下さい

- ①近くに行く
- ②名前を呼ぶ
- ③ほどほどの声で
- ④「すみません」を伝える
- ⑤注意を向ける身振りをする

感想をご紹介します

(岡山市 M様のご感想)

広報で知り、わが息子(この春より、高校3年)の進学、就職の参考になるのでは…と思い、参加させていただきました。息子について、気になっていたこと、どうにかしなくちゃと奮闘していたことが、やはり大切なことだと改めて確信し、これからは、教わったSSTを取り入れながら、頑張っていこうと思えました。また、就業体験等、息子の高校(彼の属する科)では、特に無いため、体験させてくれる作業所を自力で探そうとしていました。橋渡しをしてくださるところがあるという事を知ったのも、大きな収穫でした。長時間の講演会だったので、他の用事とも重なっており、どうしようかと悩んだのですが、参加して良かったです。

ありがとうございました。今後とも、よろしくお願いいたします。



(岡山市 O様のご感想)

あつという間に過ぎたように感じられました。今年高校最後の年でそろそろ来年の今頃は???と不安な日々を送っています。いろんな所を見学していますが、肢体不自由児で車椅子に乗っているので、なかなかできるかな?というところがありません。でも 今回の講演会に参加して、長い目で見なければいけないということ、繰り返し繰り返し。コミュニケーションをしっかりとること。そのためにSSTをしたら違うということなどなど、勉強させていただきました。わが子にすべて、あてはめて出来るかと云えば、そうでもないかもしれません。でも こういった講演会を 機会があったら、本人と一緒に参加していきたいと思えます。

ありがとうございました。

(倉敷市 Y様のご感想)

25年3月16日に「障害者の就労を考える」という講演会に参加しました。大東建託の特例子会社を設立して指導をされている山崎亨様が、障害者も最新の設備を使ったりして丁寧に指導を受けて仕事をすれば普通に働くことが出来るという事でした。ミスをして叱らず分かるまで何回も丁寧に教える。昼食後はゲームなどして楽しく過ごすなど素晴らしい取り組みをされています。岡山にもこういう会社が出来れば良いなと思えました。

山崎先生、大月先生、ご参加いただきました方々、本当にありがとうございました

講演会ご案内先

- 学校: 岡山支援、岡山東支援、早島支援、誕生寺支援、西備支援、岡山瀬戸高等支援、倉敷琴浦支援
岡大付属特別支援
- 行政等: 岡山県障害福祉課、岡山市障害福祉課、岡山市障害者体育館
- 団体等: 岡山障害者就業・生活支援センター、岡山県社会福祉協議会、ゆうあいセンター、
岡山県手をつなぐ育成会
- 企業: ベネッセビジネスメイト、旭化成アビリティィ、三井造船、ザグザグ、パソナ岡山
- マスコミ: NHK、山陽放送、山陽新聞(情報ひろばへ掲載)、岡山市市報(掲載)
インターネット『あたりまえネット』障害者就労支援のHP

岡山県肢体不自由児者福祉協会

〒700-0807 岡山市北区南方 2-13-1 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館(きらめきプラザ)1F

TEL & FAX 086-222-9018 okasifuku@kirameki-plz.com

ホームページは検索⇒

岡山肢体

検索